

第6回都立公園等指定管理者評価委員会

令和元年8月9日

午後零時59分 開会

○岡田課長代理　それでは、お時間が少し前ではございますが、そろいましたので始めさせていただきますと思います。本日も委員の皆様には大変お忙しい中、またお暑い中ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまより、第6回都立公園等指定管理者評価委員会を開催いたします。

本日は各施設の二次評価についてご審議、ご検討をいただきまして、委員会として二次評価を決定する場となります。

それでは、これより議事に入りたいと思います。これからの会の運営につきましては、委員長にお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。

○前田委員長　どうも皆さん、お暑うございますが、しばらく議事のほうをよろしくお願いいたします。

まず、事務局から資料の確認をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○岡田課長代理　それでは、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第と座席表をお配りしてございます。次に二次評価に関する資料といたしまして、資料1、A4横、ホチキスどめなのですが「事業者の健全性（財務状況）に対する評価シート」、それと資料2、A3、1枚なのですが「二次評価（案）一覧表」、続いて資料3、A3クリップどめの「二次評価シート（案）」をお配りしてございます。そのほか参考資料といたしまして一次評価と二次評価の相違箇所の一覧と一次評価シートのクリップどめを一式と、利用者満足度調査の結果のホチキスどめと、指定管理者から提出された選定時の事業計画書。これはファイルになります。それと平成30年度事業報告書概要のファイルについて、配付をさせていただいております。それとあわせて「都立公園ガイド」と「公園緑地マップ」も置かせていただいておりますので、必要に応じてごらんいただければと思います。不足などございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

それでは、二次評価の各資料について、ご説明をさせていただきたいと思います。

まず、資料1をごらんください。この資料につきましては公認会計士でございます守泉委員に作成をお願いしまして、各事業者の財務状況について評価していただきました。守

泉委員から、評価は全て「適」「不適」のうち「適」であると事前に伺ってございます。問題がある場合等は本委員会でご審議いただければと考えておりますので、後ほどご確認いただきたいと思っております。

次に、資料2をごらんください。各施設の評価案を一覧にしたものになります。こちらにつきましても委員全員の評価が一致している場合は、そのまま二次評価欄のところに案を記載させていただいております。一致していない部分につきましては赤枠の空欄という形になってございます。

最後に、資料3「二次総合評価シート（案）」をごらんください。資料3につきましては、各委員からご提出いただきましたご意見等を取りまとめまして整理したものとなっております。それから委員意見欄につきましては、このうち指定管理者の取り組みで評価できる点、事務局案への意見としてご記入いただいた内容としましては、ご意見いただいたものを事務局案で取りまとめて、二次評価コメント（案）として記入させていただいております。また、公園の管理運営全般、その他の意見としてご記入いただいた内容につきましては、二次評価にはコメントを反映しないのですが、指定管理者へ評価を通知する際にお伝えする予定となっております。

各委員からいただいたご意見につきましては、二次評価の内容への反映の有無を問わずに全てのご意見を指定管理者に、評価決定通知の際にお伝えしていきたいと存じておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日ににつきましては各施設の「S」「A+」「A」「B」などの評価結果及び評価コメントの内容の確認につきましてご審議いただき、二次評価として決定していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局からの説明は以上となります。

○前田委員長　　どうもありがとうございます。ただいまの事務局説明について、ご質問等ございますでしょうか。――よろしゅうございますでしょうか。ご発言がないようでしたら、本日の議事に入ってまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

本日の進め方ですが、今お話もちよつとございましたように、初めに各指定管理者の財務状況につきましてご確認をいただきまして、次にグループごとに各施設の二次評価と評価コメントをご審議いただき、二次評価を決定する。そういう流れを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず最初に、資料1によりまして各指定管理者の各事業者の財務状況の分析

結果につきまして、守泉委員からご報告をお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(守泉委員から財務状況の分析結果について報告)

では、この後、二次評価の審議に入りたいと思ひます。この後の議事につきましては公開ということになってございます。また、議事につきましては後日公開いたしたいと思ひます。傍聴希望があたりならば対応をお願ひします。

○岡田課長代理 希望があつたのですけれどもまだ来ていないみたいなので、このまま審議を進めていただければ。

○前田委員長 では、間でお入りになられることもあるということです。そのようにご承知いただき、審議のほうを進めてまいりたいと思ひます。

では、各施設につきましての二次評価の審議に移りたいと思ひます。次第に従ひましてグループ順に確認してまいりたいと思ひます。各グループにおいて委員の評価が一致していない施設がある場合は、まず一致していない施設の評価を審議し、その後、その他の施設について審議するという流れで進行したいと思ひますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

では、まず都市部の公園・東部グループにつきまして、事務局から二次評価案を簡潔にご説明いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○岡田課長代理 資料3をごらんください。「二次評価シート(案)」の1ページ目をおめぐりください。評価につきましては一致してございまして、尾久の原公園が「A+」、その他の公園が「A」という評価になってございます。

コメントにつきましては、いただいた意見として全公園を通した適切な剪定による快適で安全な環境づくりですとか、ボランティアとの協働によるハーブガーデン。あと、中川公園での森の絵本イベントなどで評価をいただいております。そのほかインタープリター号ですとか、プチマルシェの展開等への期待についてもご意見をいただいております、二次評価コメント(案)に記載してございます。

東部グループの説明につきましては以上となります。

○前田委員長 では、委員の皆様から評価の整理につきましてご意見ございましたらお願ひしたいと思ひます。いかがでございましょうか。どうぞ。

○森本委員　これはこのグループに限らずなのですが、たまたま私が評価を下げている例があるのですが、それはコメントを読んだときに、そこまで褒めている感じがしないなというコメントしかない場合にどうなのかなと思った。今このグループでいいますと尾久の原が「A+」ですから、ほかの公園よりも尾久の原は、ああ、確かにいいなという記述があるかなと思ったら、一応3カ所ぐらいに尾久の原公園と書いてあるので、これはいいのかなと思うのですが、つまり「S」だったり「A+」。グループの中で殊にいいと評価されたものがコメントでも評価されないと、何がよかったのかというので、えてしてコメントがうまく書けていない満足度が全ての項目で高いと、結果として1点、2点上がって評価が上になる場合があるのです。今ここでは尾久の原は3カ所で一応褒めてあるのでいいのかなと思いましたので、そういう見方をほかのグループでもしたほうがよいのかなと思います。

○前田委員長　今回、評価の委員意見欄が大きく変わりましたので、皆さんどういう形で整理をしたらいいかなということはちょっと迷いもあったかもしれませんが、多分それを踏まえての森本委員の意見だと思いますので、もし何かコメントがあればほかの皆さんからもいただきたいと思いますが、今すぐにとということではありませんので、それでは、個々に委員の意見、評価の分かれている部分もございますので、そのあたりで詰めていければいいかなと思います。ということで、この東部グループにつきまして二次評価案どおりで決定させていただいて、よろしゅうございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

よろしければ、そのように決定させていただきたいと思います。このような形で先に進めさせていただきます。

では、次に都市部の公園・南部グループの審議に入りたいと思います。事務局からのご説明をよろしくお願ひします。

○岡田課長代理　2ページ目をごらんください。評価は一致しておりまして、日比谷公園につきましては「S」、その他の公園については「A」となっております。

コメントにつきましては、日比谷公園の首かけイチョウですとか、芝公園の丸山古墳のことですとか、あと蘆花恒春園のモウソウチクなど、歴史や文化に関連する公園資産の維持保全への取り組みについて評価をいただいております。そのほか林試の森公園での土砂流出対策、蘆花恒春園の花の丘整備等についてもコメントをいただいております。また日比谷公園での近隣企業等も参加したパークミーティングですとか、芝公園の歴史ガイド

ツアー、青山公園での地元保育園と連携した防災訓練などにつきましても評価をいただいております。コメント欄に追記をさせていただいております。

南部グループの説明につきましては以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。委員の皆様からのご意見をいただきたいと思いますが、何かお気づきの点、ご指摘の点があればお願いしたいと思います。——ここは総じて非常に高い評価で、「A」から「A+」にいてもおかしくないような公園が幾つかあるようなところでありますけれども、この評価にあるように日比谷公園が今断トツで「S」評価ということになります。何かございますでしょうか。

○前田委員長　南部グループの二次評価案のとおりに決定するというので、よろしゅうございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

では、続きまして北部グループの審議に入ってまいりたいと思います。事務局からの説明をよろしくをお願いします。

○岡田課長代理　3ページをごらんください。評価は一致してございまして、全公園で「A」となっております。

コメントにつきましては、石神井公園や大泉中央公園での希少動植物の保全ですとか、各公園でのフィールドミュージアムガイド、あと戸山公園の歴史・文化を掘り起こした取り組みですとか、赤塚公園でのボランティアと協働した年末クリーンアップ活動などについて評価をいただいております。また、そのほか戸山以外の公園について公園が地域の中心となるような取り組みですとか、善福寺公園でのサービスセンターの改善等への期待についてもご意見をいただいております。その旨記載させていただいております。

北部グループの説明については以上になります。

○前田委員長　ありがとうございます。北部グループの公園の評価につきまして、ご意見ございませんでしょうか。

○森本委員　ほかの公園でも同じ見方をしなくてはいけないかと思いますが、今二次評価のコメントでフィールドミュージアムガイドのこととか、戸山公園の箱根山つつじ祭りなど、これは管理状況の欄でしょうかねというのが、管理状況に書くことと事業効果に書くことは一次評価の項目別ですよね。そうするとイベントとか広報とか考えると、今いったようなものは事業効果のほうに書かれるべきものかなと思うのです。ちょっとそこら辺

が、防災はどっちなのというのがわからなかったので全体を通して整理されていればいいと思いますので、コメントそのものではなくて記載の場所について、一度整理していただきたいと思います。

○岡田課長代理　　記載の方法も維持管理のことをいっているのか、それにおけるイベントですとか、そういうことをいっているのか不明確な部分もありますので、そこら辺はちょっと整理させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○前田委員長　　今森本委員がおっしゃったような、どっちかなというように迷ったところが、我々も作業をしていてあったかと思えます。今のようなご発言も受けて、ぜひ事務局でもう一度見直して位置を確認していただければありがたいなと思えます。

ほかにはいかがでしょうか。――北部グループ、私の私見で申しわけないですけども、ちょっとひとところに比べてという言い方はおかしいですが、何か少し停滞していないかなというのが気になっていまして。戸山公園が物すごく力を入れてやられたことは、もう十分高い評価もさせていただいてきたのですが、その後の動きがもう一つかなという感じが、これはもう私の感覚の問題ですので、そういうこともちょっとあったよということだけお聞きいただければと思っていますが、ぜひこの後に向けて頑張っていただきたいなと思うものですから、一言いわせていただきました。――ほかにいかがですか。

○森本委員　　今委員長がおっしゃったものに似ているのですけれども、現地確認をさせていただいたりした範疇ですが東京都の緑の重要な景観をつくり出すような公園なので、大きくなり過ぎた木を切りますとか、それは最低限やることですが、景観的にどのようにつくっていくつもりなのかなど。それでこちらのグループさんはパークビュースポットということまで、でももう今スポット単位でここをみせようとかではなくて、例えば貴重な池と緑の総合的な環境みたいなものを景観としてどうやってつくっていくか。大きな目で管理の方向性を決め、それをずっと変化を追っていくというか。そのようにしていただくと、このグループのもっている魅力的な公園の打ち出し方というのがよくなっていくのではないかなと。せっかくの資源をもっと生かしていただきたいという気持ちはあります。

○前田委員長　　ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。――このような意見もいただきましたが、北部グループの評価としては今の案のとおりでご承認をいただくということで、よろしゅうございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。では、北部グループの審議は以上でございます。

続きまして、武蔵野の公園グループのほうに入ってまいりたいと思います。事務局、よろしくをお願いします。

○岡田課長代理 4ページ目をごらんください。浅間山公園につきましては、網野委員から「S」の評価をいただいております。ほかの公園については一致してございまして、武蔵国分寺公園が「S」、野川公園が「A+」、その他は「A」となっております。

コメントにつきましては、グループ全体として市民の要望を形にし、地域コミュニティと連携した地域活性化の中心となる質の高い管理運営についてということで評価をいただいております。また、武蔵国分寺公園でのわ市の開催についても評価をいただいております。記載をさせていただいております。

武蔵野の公園グループにつきまして説明は以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。

今ご説明ありましたように二次評価につきまして、それが一致していない浅間山公園の審議をまずさせていただきたいと思います。浅間山公園の審議で「S」評価をされました網野委員から、ご発言をいただければと思います。

○網野委員 浅間山公園ですが、事務局案にも書いてあるように、ガイドラインの冊子化と多様な主体との連携というのが評価されているのですが、特にガイドラインは2011年度の調査から始まって、冊子化は2018年と長年の取り組みの成果であることと、多様な主体と長年かかわってきた、積み上げてきた信頼関係であって、その成果がさまざまな場面で随所にあらわれているというように感じました。日々の効果的な公園管理ですとか、地元市と連携した普及啓発のイベント。それから現場でもお話しいただいたように台風被害の復旧作業において、非常に密接な取り組みが迅速な復旧につながったですとか、あとその場でもほかの地域の自然保護団体が視察や勉強に来るというように聞いておりました。指定管理者が多様な主体と連携協力しながら効果的な公園管理と利用促進を実現する。今後の公園管理のあり方となるべき極めて高い評価を私はさせていただきました。事務局案ですと「A+」でしたが、それよりも私としてはいい評価かなというように感じて、「S」評価をつけさせていただきました。これはあくまでも私の意見でございます。

以上です。

○前田委員長 ありがとうございます。ほかに、ただいまのご説明を含めまして委員の皆さんからご発言があればいただきたいと思います。いかがでしょうか。――浅間山公園、ポイントとってはあれですが、点数的にはほぼ「S」に近い。あと1点というよう

なところにあるわけですね。浅間山と野川公園が同じような評価を受けて、その1つ上に国分寺公園があるといったような状況ですが、今のようなご発言で浅間山公園、恐らくもう少し上にみてもいいのではないかというご発言だったかと思いますが、この辺の考え方に関してはどなたかご発言があればお願いしたい。どうぞお願いします。

○細川委員　今の内容に反対するわけではないですけれども、現場でみた、見た目の多くが西部公園緑地事務所がかなり大きな木の樹木整理をした上で、それは当然NPOさんたちと連携しながらやっているのですけれども、行政がちょっとお金をかけて手を加えた結果もかなり影響があったなど、私自身は感じた部分なのです。あれが指定管理でやられているのであれば当然非常に高い評価なのかなと。ちょっと見た目の部分で評価のぶれがあるかなというように、ちょっと感じてはいたのです。冊子はもう立派に積み重ねたいものだと思うし、あれをまた別のところでもし展開できるのであれば、取り組みとしては非常によろしいかなと評価いたします。

○前田委員長　恐らく行政のほうといいますか、事務所のほうも冊子を十分に理解した上で実施をやられたのだらうと思いますので、そういう意味ではお互いに連携したプレーであることは間違いはないかと思いますが、今細川委員からそういうご意見もございました。この公園を「S」にするか、「A+」かというあたり、ほかにご発言はございますか。

○細岡西部公園緑地事務所長　委員長、済みません、ちょっと管理の現場からでございます。指定管理の評価をするに当たって、あと行政側でやったこととの仕分けというのは、実をいうと今細川委員からもございましたが少々難しいところがあります。私どもで大きな施設を、新しいものをつくったときに、それにまたきれいなもの、周りもまだ整っているといたものに引っ張られることもあります。

今回の大規模な、比較的大きな植生管理の取り組みは、樹林地の再生の取り組みというのはまだ比較的新しいといいますか、目立つ状態でありますので、このあたりは指定管理の技と、そのときのシーンというのはなかなかちょっと難しいところがあるのかなと。言い方を変えますと、大規模なものをやった後というのは多分管理しなくてもきれいです。そういうところは指定管理の業務に引っ張られるというのが、今ちょっと評価が少し持ち上がるのではないかというのが細川委員からありました。そういう面もありましたけれども、ちょっとそこは抜いてみてもいいのかなと思います。

そうでなくても、このガイドラインというのはかなり、今網野委員がいわれた感じは高

く評価できる。評価に関するコメントは私どもではちょっとできませんので差し控えますけれども、実際現場をごらんいただくに当たって私どものやった仕事との混ざり具合というのは、ちょっと気をつけてみていただければなという感じです。

○前田委員長　いかがでしょうか。今ご説明があったとおりでと思うのです。まず行政が手を入れた。それらを生かした管理をさらに進めていくということは、今の浅間山の皆さん協力いただいている団体さんを含めて、この後十分期待できるのではないかという感じはするのですが、そういうことで今回、ここで「S」評価をして完成形といいますか。そういう形で評価するのがいいのか。このまま今54点の評価でいくかというあたりの判断だと思います。これに関して。

○森本委員　今後に大いに期待したいというようなコメントも委員意見の中に書かれているので、ここまできた。さらに発展させてほしいという感じかなと思いますね。今の段階ではですね。

○前田委員長　わかりました。今森本委員からご意見もございましたが、網野委員、いかがですか。

○網野委員　皆さんの評価でよろしいかと思います。今後に大いに期待したい。

○前田委員長　大いに期待したいと思いますし、その力は今の管理者は十分もっているのではないかとということで、そういった期待を込めて、ここは「A+」で整理させていただくということで、よろしゅうございますでしょうか。

○網野委員　結構です。

○前田委員長　ご異存がなければ浅間山の審議につきましては「A+」ということで、決定させていただきたいと思います。そのほかの点につきまして何か。

○森本委員　今事業効果で書かれているところが、1つ目がイベントやボランティアと書いてあったり、3つ目がイベントと書かれていたり、あったらいいなもイベントの内容だったりするものですから、ちょっとこら辺、今各委員のものを並べている感じがするのですが、少し事務局で繰り返しにならない、うまい書き方をしてもらったらどうか。

○前田委員長　武蔵野の公園グループ、個々の公園一つ一つは非常に高いレベルを目指して進んでいるなという印象は、私だけではなくて皆さん十分お持ちなのだろうと思います。まだまだこれから高い評価の公園が出てくるのではないかと期待はさせていただきたいと思いますが、現時点での評価に関しては、ここに掲げさせていただいた評価でよろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。では、ご異存なければ浅間山を「S」といたしまして、あとの評価はそのままという形で整理をさせていただきます。

続きまして、多摩部の公園グループに移りたいと思います。事務局からお願いします。

○岡田課長代理 5ページ目をごらんください。小宮公園につきましては、守泉委員から「S」の評価をいただいております。ほかの公園につきましては一致してございまして、陵南公園が「S」、そのほかは「A」となっております。

コメントなのですが、滝山公園での土砂流出対策やチップ敷設による坂道の滑りどめなど丘陵地公園の課題解決への取り組みですとか、大戸緑地での明るい雑木林計画などについて評価をいただいております。また、グループ全体を通じた参加協力する市民の熱意ですとか、自立性を高める取り組み。そのほか美しくわかりやすい印刷物による情報発信ですとか、陵南公園でのこもれびピクニック、春の日マルシェ、大戸緑地でのあつまれ！森キッズなど、それぞれ評価いただいております。記載を追記させていただいております。

多摩部の公園につきまして説明は以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。それでは、まず手法としては一緒でございますが、評価が一致していなかった小宮公園の審議から入りたいと思います。まず「S」の評価をされました守泉委員からのご発言をお願いしたいと思います。

○守泉委員 委員の意見のところにも入れているのですけれども、それをちょっとそのまま読ませていただきますと、小宮公園の特記事項として八王子市への協力というのを、30番の関係機関との連携の部分で加点することができるのではないかとというのが1点。もう1つは、買い物をしないのにコンビニに駐車した件というのは、実際商業施設からすれば結構大きな苦情が出てくるのはわかるのですけれども、これは直接的にみれば公園の管理というよりも会社側の問題である。その部分に関して一応は法令遵守ということで、水準を下回るということで減点はしています。減点していてもあと1点のところ、かつ特記事項の部分に関しては、次のページのところで事業効果の中でも示されているように八王子市の小学校の1年、4年を受け入れてという形で、比較的大きな規模でこういうこともやっているということ。あと実際小宮公園の全体をみた実態の中でも非常に魅力的な公園になっていることから、1点の加算ということで「S」にしてもいいのではないかと、というように私は思いました。ただ、皆さんのご意見もお聞きして、それに従いたいと思

ますので、よろしく申し上げます。

○前田委員長　ありがとうございます。今ご説明いただきました守泉委員のご発言も含めまして、皆様から何かご発言があればお願いしたいと思いますが、1つにはコンプライアンスといったようなことが割合初めにぽんと出てきたものですから、そこに若干引きずられている部分もあるのかもしれないというのは、今指摘をいただいて私自身もそんな感じをちょっともってはいるのですが、それはそれで1点の減点は既にしているわけです。その上で、ただ、公園の管理としては「S」評価でもいいのではないかとということだろうと思いますけれども、そのあたりに関していかがでしょうか。ご発言はございますか。――実際に指定管理者さん、この間、ヒアリング時にも冒頭これらに関して言い訳ではなく、みずからのコンプライアンスに関する規律の問題として、大変ご迷惑をおかけしましたというご発言だったかと思います。そこはそこということもあるのかもしれませんが、小宮公園に関しては今までもまだ「S」までいっていない状況の中で、ここで高い「S」評価をすることでいいかどうかということも含めてちょっとお考えいただければと思うのです。

これは私の意見ではありますが、今守泉委員がいわれたように非常に高い取り組みをしておられますし、植生等の関係に関しても、これも事務所の伐採等々があった上での話ですが、そこもある程度何年かたった後、今非常によく管理しておられるというのはみせていただいたような気がします。ですから、ここの公園、今後非常に高い管理の水準を維持してくれるのではないかと。期待は十分あるかなという感じはしているのですが、その上で改めて評価をするのが妥当かなと私はちょっと思っているのですが、いかがでしょうか。どうぞ。

○荻原委員　私もそう思います。行ってみましたら環境学習のレベルがすごい高くてびっくりしました。お話を聞いたらアメリカの最先端の環境学習を随分研修として学びに行かれたりして、あのグループ全体のリーダー的な、拠点的な施設になっているのだなということがわかって、そういう環境学習のプログラムをここでやるだけではなくて、日本の中で普及していこうという気概を非常に感じましたし、それがまた環境管理に、子供たちの育成。環境活動が地域の人の参加とか、公園の管理にも反映してきている。緑地管理、自然環境の維持管理にも反映してきているので非常にモデル的な、模範的な施設になるのではないかなと思います。今の意見に賛成いたします。

○前田委員長　そういうご発言がございます。非常に今後が期待される公園であることは間違いのないと思いますので、その中でほころびというのは常に管理者は気にしていな

ければいけないと自戒していただくことを込めて現在の評価、「A+」ということでおさめさせていただくのでいかがでしょうか。――よろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。では、小宮公園の評価に関しては「A+」にさせていただきます、そのほかの公園に関しても、今の陵南公園「S」、あとの公園、滝山と大戸緑地が「A」という評価でよろしゅうございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

○前田委員長　それでは、次に狭山丘陵グループの審議に入らせていただきたいと思えます。事務局からご説明をお願いいたします。

○岡田課長代理　それでは、6ページ目をごらんください。こちら評価は一致してございまして、野山北・六道山公園につきましては「S」、そのほかの公園につきましては「A」となっております。

コメントですが、グループ全体を通した産官学民共同により成果を上げていることとか、ボランティアがともに公園を育てる仲間として定着してきていることなどについて、評価をいただいております。そのほかグループ公園のフリーペーパーによる海外向け情報発信ですとか、狭山公園での地元市との連携強化による観光振興、野山北・六道山公園でのボランティアと協働した里山の風景づくりなどにつきまして意見をいただいております、その旨記載をさせていただきます。

狭山丘陵グループにつきまして説明は以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。では、委員の皆様からお気づきの点等でご発言があればお願いしたいと思います。お願いします。

○守泉委員　全体として問題はないですけれども、野山北・六道山はずっと「S」の中で、ちょっとここ一、二年見ていないのですが里山の部分の全体の広がり、ここをこのようにやっていきます。こうやります。ここをもう少し広げますみたいな形で以前から計画があったと思うのですけれども、その計画が長期的にみて順調に進んでいるのかということは、やはりチェックしていただいているのかなど。そこがちょっと疑問なのですけれども、もう何か「S」だからみたいな形で定着しているような、現状としては確かにいいのかもしれないですけれども長期の計画で見れば以前に行ったときでも、このところの里山をこのように造成しますというのが余り進んでいなかったということがあったり、それからここにもトウキョウサンショウウオの産卵水域を維持創出をしたことがありますけ

れども、やり方の問題があると思うのです。そういう環境を外からゆっくりつくっていつて、長期的な計画で少しずつやっていくというやり方と、最近、海外ですと、もういきなり環境をばっと変えてしまうようなやり方も思い切ってやっているケースがあるのです。そういうことも踏まえて長期の計画の中で、さらに進化しているのかということは常にちょっとチェックしていただきたいなど。「S」だから大丈夫だよと思わないで、さらにもっと理想は違う。もっと上があったのではないですかということを見ていただきたいなと思います。現場の方をお願いすることなのですけれども、よろしくお願いします。

○前田委員長　　ただいまのご発言、非常に重要なことだと思うのです。なれてしまうことによって、レベルは高いのだけれども、そのレベルでとまってしまっている感じがするのは否めないと思うのですよね。特に六道山のところは非常にコンパクトな地形の部分があって、そこだけに注目が集まっているけれども、公園としてはまだまだいろいろな可能性のある広い部分があるのですが、そこをどうしていくかということに関しては、いろいろ考えていますというお話は視察のときに伺っていますけれども、その後ということに関しては、ご報告の中では余り散見できないということなのかもしれません。そういったあたりで、今度は実際そこに新たに入っていくということであれば、また行政とのタイアップでいろいろしていかなければいけない部分があるだろうと思いますので、そのあたりも行政からのいろいろなサゼスション等もしていただくといいのかもしれないですね。——いかがでしょう。

○荻原委員　　「S」でずっと来て、どんどんやってきたらもっともこの線を伸ばしてほしいという気持ちもわかりますけれども、結構ここまでやってきて、それを維持していくのは相当な努力が、やはり人の組織をずっと絶やさずに、高齢化もしていくと思いますし、そんなにボランティアって続くものでもないのに、それを維持して継続していくのはもう今まで以上の努力が必要になるので、例えば同じ委託費の中でどんどん上へ行きなさいという評価でなくてもいいと私は思います。つくったものをずっとそのとおりに維持するだけでも相当大変なので、それはどんどん広げなくてもいい気もします。

○前田委員長　　今現在、非常に高いレベルの管理を実践しておられる荻原さんの意見ですから、非常に重いと思います。実際に管理をしている皆さんからすると、やはり高年齢化であるとかいろいろなものが周りにあって、しかも期待度は皆さん、もうここは「S」だからというので、非常に高い期待をもってこられるものに対してどのように応えるかということは、傍で見ているものとはまた大分違う部分があるのかなと思いますので、私の

先ほどの発言も含めてもっとというのは気持ちとしてありますけれども、そののあらゆるし方というのは、いろいろに考えてもらわなければいけないのかもしれないのかもしれないね。

○荻原委員　そうですね。

○前田委員長　ありがとうございます。貴重な意見だと思います。——ほかによろしゅうございますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ほかにご意見なければ、狭山丘陵グループにつきましては評価案どおりということで決定させていただきます。

では、続きまして多摩丘陵グループに移らせていただきます。事務局、よろしくお願ひします。

○岡田課長代理　それでは、7ページ目をごらんください。評価は一致してございまして、小山内裏公園と桜ヶ丘公園で「A+」、ほかの公園については「A」となっております。

コメントですが、グループ全体を通じた地元ボランティアとの協働による希少種保全ですとか、桜ヶ丘公園での地元関係機関と連携した地域防災訓練、小山内裏公園でのサンクチュアリの情報発信ですとか、近隣大学の生徒も参加したチャレンジ防災について評価をいただいております。そのほか小山田緑地公園での14日間連続で実施したキッズイベントですとか、多くの方が継続的にかかわって参加した田んぼづくりなど、スタッフによるコーディネート成果ということで評価をいただいております。記載をさせていただきます。

多摩丘陵グループの説明は以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。多摩丘陵グループの5公園ですが、これに関して何かご発言ございましたらお願いしたいと思いますが、特にございませんでしょうか。——では、この二次評価案どおりで決定させていただくということで、よろしゅうございますか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。では、そのような形で整理をさせていただきます。

続きまして、大神山公園に移りたいと思います。事務局、お願ひします。

○岡田課長代理　8ページ目をごらんください。評価は一致してございまして、「A+」となっております。

コメントにつきましては、外来種の伐採ですとか、固有種の植栽や、あとおもてなし花壇などの植物管理について、そのほかツイッターですとかホームページを活用した情報発信について、地元企業と連携したタコノキの葉のチップ化などについて評価をいただいております。その旨記載をしております。

大神山公園の説明については以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。大神山公園は「A+」の評価でございますが、これに関して何かご発言ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○森本委員 ここは整理していただければいいと思いますが、外来種の伐採のことに関して2カ所で同じようなことを書いていますので、ちょっと整理してください。

○前田委員長 ほかにはいかがでしょうか。——ご意見ございませんようでしたら大神山公園につきましては、二次評価案は「A+」で評価させていただくということで、整理をさせていただきたいと思っております。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

続きまして、青山葬儀所の評価に入りたいと思っております。まずご説明をよろしくお願ひします。

○岡田課長代理 9ページ目をごらんください。守泉委員から「A+」の評価をいただいております。

コメントにつきましては、前年度に比べて利用者が増加したことですとか、メモリアルボードなどの改修について評価をいただいております。記載させていただいております。

あと、守泉委員からコメントをいただいております。目標件数の達成状況と納入金の取り扱いについて、ご意見をいただいているところでございます。

一次評価につきましては、全庁的なルールの基準等に基づいて機械的に評価しているところがございまして、例えば数値目標につきましては全庁的なルールとしまして、目標を設定した1割増となる110%を達成してやっと水準を上回るという評価、ルールがあるという状況でございます。あと、確かに名誉都民葬で減免扱い等してございます。ただ、減免扱いにつきましてはもうそのまま制度的にやっているところでございまして、要請してやってもらっているのではないので、ここにも反映していない。一次評価では反映していないという状況でございます。なので基準に従った一次評価については「A」評価とな

ってございますが、二次評価といたしましては基準にかかわらず評価をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

青山葬儀所の説明については以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。

それでは、守泉委員からご発言をいただいて中身の検討をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○守泉委員　私の意見の中にも書いてあるのですけれども、まず目標件数を上回ったところの部分。それは先ほどご説明いただいたように1割上回った場合であったとしても、評価として上げる場合には1割以上の部分ということはよく理解できました。その部分はまず置いておいて、それから都民の名誉葬の問題に関しては納入金の面でみれば、名誉葬にひっかかる、ひっかからないというのは運営者の努力の問題とは違うところで外生的に起きてくる事象なので、それをもってこの部分で、責任としてみていく部分に関しては、評価としては適当ではないのではないかなと。あくまでもみずからの努力にかかわる部分に関して評価をすべきであるので、納入金の部分の判断に関しては、名誉葬の部分でなかったものとして比較をすべきなのではないでしょうか。

ただ、先ほどの件の1割という部分が対象にならないのであれば結果としては変わらないと思いますので、それは別に皆さんの判断にお任せしますが、点数としていえば名誉都民葬の部分に関しては納入金を上回っているときに、この部分は考慮しないでいただければと思います。

○前田委員長　今のようなご発言でございますが、それに関しても含めて皆さんからご意見があればと思います。

○森本委員　今のお話で加点するとしても、一次評価の45点が48点にはならない。

○守泉委員　だからランクアップには、今の説明で1割を超えているわけにはならない。

○森本委員　私もずっと大変な努力をされているというので褒めて差し上げたい気持ちは毎年毎年ありますが、苦勞されていることもすごくわかるので、激励したいという気持ちを込めたコメントがあればいいかなと思っているのです。

○前田委員長　今まで過年度の評価からいくと「S」評価をした一昨年、昨年。3年前、2年前という形かもしれませんが「A+」で、今回「A」というのは何か評価が下がってきているのかというようにみえてしまう。これは形の上ではあるのですが、ただ、中身にご説明をいただいている限りは非常に限られたスペースの中をいろいろに工夫されて、

やられているという点は我々も十分感じているところだと思うのですよね。そうすると数値に出てこない部分で、何かそういう評価があってもいいのかもしれないと思いますが、それに関してはいかがでしょうかね。

○森本委員　二次評価のコメントに施設面のいろいろな工夫をされているようなことを、一言管理状況欄にさらに加えていただいで、評価は変わらずですが委員の気持ちを伝えたいと思うのです。

○園尾管理課長　事務局から改めて補足でございますが、一次評価は私ども点数方式でやっておりますが、二次評価は決してそれにとられるものではございませんので皆様方のご意見がそろうのであれば、それにかかわらず評価していただいて大丈夫でございますので、改めて申し上げます。

○前田委員長　いかがでしょうか。我々の感覚的なものというところとちょっと語弊があるかもしれませんが、感覚的なものとしては「A+」ぐらいの評価をしていい施設管理ではないかなと思うのですが、その辺はいかがでしょうかね。点数的にはかなりまだまだというところの評価ではありますけれども。

○森本委員　点数ではそうだとということで、実際東京都で日ごろ管理されている方とか、結果をみてどこまでいってほしいのか。どうなってくれたら「A+」とか、何が不満なのかというのが、実は十分やっているじゃないといえやっているような気もするし、どうなしてほしいのかなど。老朽化した中でも利用を広げているというのが一番褒めてあげたいところであり、もうぎりぎり限度なのに頑張っているのか。いや、まだまだもうちょっと工夫の余地があるのではないのとみているのか。そこら辺が事務局の考えている一次評価の数字でない心の中というのも、お聞きしてみたい気はするのですけれども。

○守泉委員　ちょっと個人的な話をしますと、マスコミに対して結構いろいろな葬儀の状況で取り上げられるケースがよくあって、そういう面では非常に高く評価をされているとともに、一部に関してはプロジェクターとスクリーンの増設等の対応を行ってある程度はやっているのですけれども、そこまでやり始めたのであれば老朽化した施設で、確かにリアルな施設はそうかもしれないけれども、最近はバーチャルで表現するものをもう一歩進めていくと、プロジェクションマッピングとかうまく使ってもっとみせられるよねというところは、確かにあることはあるのですよね。それは彼らの能力ならばできて、あっと驚くような葬儀場の施設を実はつくれるよねというのはあるのです。そこは彼らの能力でもっと頑張れるねという期待はありますけれども、そこまで要求するのかというところが

ありまして。

○荻原委員 あつと驚くような、そういう葬儀は多いのでしょうか。

○守泉委員 そうなのですよね。ですから、ちょっとここは皆さんの判断にお任せできればなど。

○前田委員長 今のお話にもありましたように施設そのものは、もう非常に使い勝手の余りよろしくない施設をいろいろに工夫しながらここまで来られた。その辺の努力を買って今までにも「S」の評価をしたこともありますし、「A+」の評価もしてきているわけですが、とはいいいながらずっと利用者数は落ちてきていたのですよね。余り高くなってこなかったのが、ここへ来てわずかだけれども利用者がふえてきたというか、見直されてきている部分があるのかもしれないという気もするのですよね。ですから、ここはもう一頑張り、今おっしゃられたようなことができれば「S」評価にもっていくのでしょうかけれども、そこは無理にしても、そこに向けてステップとして「A+」ぐらいの評価でも決しておかしくないのかなとは思いますが、その辺いかがでしょうかね。

○前田委員長 我々評価委員会の評価としては二次評価を「A+」という形でおさめさせていただくということで、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。では、そのようなことで「A+」という評価で整理をしたいと思っております。

皆さんの協力で時間は早目に進んでおりますが、では9グループが終了したところで、おおむね半分ということでございますので、一度休憩ということにさせていただきたいと思っております。事務局にちょっとお返ししたいと思います。

○園尾管理課長 委員の皆様、大変お疲れさまでございました。

それでは、今から約20分休憩をとらせていただきたいと思います。あちらの壁かけ時計で35分から再開させていただきたいと思っております。お疲れさまです。

(暫時休憩)

○園尾管理課長 それでは、定刻になりましたので委員会を再開いたします。委員長、よろしくお願いいたします。

○前田委員長 それでは、議事を再開させていただきます。

まず、防災公園グループの審議に入らせていただきたいと思います。事務局からのご説明、よろしくお願いします。

○岡田課長代理 10ページ目をごらんください。評価につきましては、武蔵野の森公園について森本委員から「A」評価をいただいております。そのほかにつきましては評価が一致しておりまして、葛西臨海公園で「S」、秋留台公園が「A+」、その他は「A」となっております。

コメントなのですが、グループ全体として防災訓練として想定をいろいろ変えて年3回、全体訓練を実施したりですとか、あと車椅子の避難誘導など新たな内容を加えた防災訓練について評価をいただいております。そのほか葛西臨海公園でゴールデンウィークの多客時に駐車場混雑情報を発信するなどの工夫によって混乱なく運営したことですとか、武蔵野の森公園のふるさとの丘の整備などについても評価をいただいております。

また、東京2020大会を契機に新しい取り組みがみられたことや、木場公園での美術館と連携した遊べるアート展の実施、あと砧公園でのクロスカントリーイベントでの新たな公園需要の創出、駒沢オリンピック公園での多様な主体と連携した駒沢ファンタジアの実施についてそれぞれ評価をいただいております。追記をさせていただいております。

防災公園グループの説明については以上になります。

○前田委員長 ありがとうございます。防災公園、非常に数多い、しかも都を代表する大きな公園が含まれておりますので、これらの評価はなかなか難しいところかもしれませんが、今お話がございましたように全体としては皆様、一次評価を支持していただいた数字になってございますが、武蔵野の森公園につきまして森本委員からのご発言をまずいただいて、この「A」評価をどうみるかということを審議していきたいと思っております。森本さん、よろしくお願いします。

○森本委員 事務局案で武蔵野の森公園のコメントがいろいろ訓練をやりましたということしか書いていなくて、防災公園ですからある意味当然取り組んでしかるべきことで、それ以外に何か褒めることはないかなと思って私なりにみたのですが、これといってちょっと思いつかなかったものですから「A+」にはならないのではないかなというように判断しました。ただ、今委員のご意見を受けて1つ、ふるさとの丘などの整備を書き加えられているので、これは「A+」でも私は構いません。

同じようにみると、実はちょっと見落としていた秋留台公園の「A+」も特別なコメントがローズフェスタぐらいしかないのが、逆に木場公園とか、砧公園とか、ほかの公園の

記述がふえたことによって埋もれてしまうところが、それでいいのだろうか。ほかに褒めるものはないだろうかとちょっと報告書をみたのですが、遊ぶ遊具がないからイベントでみたいなことがたしかあった気がするので、そういった工夫したものをもう1点ぐらい加えてみたいと。私の意見としては、秋留台にソフトプログラムで子供の笑顔いっぱいというようなものがあります。遊具が少ないから、とりあえずソフト面で子供のためにというようなことですか、ユニバーサルスポーツも数年続いた中で改善されたりしているのはわかるのですが、この改善はもうちょっと努力してほしいので、私は書くのだったら、今のソフトプログラムで子供の遊びというのは書いてもいいのではないかという意見です。

○前田委員長　ありがとうございます。ただいまの森本委員の意見を踏まえて。

○細川委員　私から、武蔵野の森公園は非常に立地が特殊な状況があって、調布飛行場の周りにさらに各市町村が、府中、調布、三鷹と3市が区分分けされている中で各市が運動場をもっていて、実は公園が住宅地にほとんど接していないような特殊な公園の形態なのです。そうした中に地域の住民の方を呼び込む努力というのが、唯一のびのび親子館というのが今子供たちをようやく呼び込めるようになって、ソフト面ではそのある程度の活動をもうちょっと評価してあげてもいいのではないかなと思うのと、地域の町会、防災訓練の回数が出ていますけれども、そういったばらばらの分断されたところから地域の防災訓練で協力してもらうのも、これは指定管理者としてはかなり、努力がみえるのではないかなということで、私自身は「A+」でいいのかなというようには感じております。

○森本委員　単に実施しましたというのだと弱い。今のような指定管理者がすごく努力したというような意味合いを、もうちょっとコメントにプラスすることで私も「A+」で構わないと思います。秋留台に関しても「A+」でもう少し引き上げたい部分があれば。

○細川委員　秋留台も今の、いわゆるパラリンピックに向けた障害者向けのスポーツイベントを、最初はあきる野市でやっていたのが近隣の市町村を巻き込んでかなり広がりを見せて、恐らく都内最大のイベントができるようにシチュエーションになっているのはかなり評価。そういう努力を積み重ねてきているのは非常に価値あるかなと思われま。

○森本委員　細川委員がご意見の欄で書いているようなことですね。

○細川委員　はい。

○森本委員　これ、評価のコメント欄に生かすといいのではないでしょうかね。

○岡田課長代理　コメントの記載はちょっと確認させていただいて、より評価がわかるような形で記載させていただきたいと思います。

○前田委員長 森本委員、武蔵野の森公園の「A」評価に関しては。

○森本委員 「A+」で。

○前田委員長 「A+」ということによろしいですかね。

○森本委員 はい。

○前田委員長 では、評価自体は皆さんの評価がそろそろ形にさせていただくことにしたいと思います。ただ、今もちょっと森本委員が別件として話したのですが、防災公園の評価というのは非常に難しいなど以前からも考えていたのですが、防災機能という面での話と、それから非常に規模の大きな、都を代表するような公園がいっぱいありますから、その公園としての評価をどうバランスするかは、多分今ある一次シートあたりだと一般的な公園の管理であったり、それからイベントみたいなもの。最後にある事業効果の中の一番最後、行政目的の云々といったところあたりに防災が若干あって、そこはみんな評価がどんどん上がってきていると思うのですけれども、上がっても項目が2つか3つしかありませんからそんなに高い評価ではない。そうすると防災公園としてグルーピングしている割には防災面の評価と、それから平常時の公園の利用とのバランスみたいなやつをみるには、もう一つ何かここに工夫が要るのではないかなという感じがちょっとしますね。

これ、スタートしたときには、防災公園グループをつくったのだけれども公園としてはあまり防災ということを、少なくとも公園管理者はそんなに強く意識をもっていなかったのを、どちらかというともっとみんな意識をもって、そして防災公園とは何かといったあたりをという話があって、そして皆さん努力されて訓練だとか、それから地域を巻き込んだという形に移行してきたと思うのですよね。

そういう防災面での工夫等はみられたのですけれども、逆に今度は、では一般の公園として日常の利用面で何しているのというあたりに、今度はなかなかそこに目がいなくなってきたのが、ここへ来てちょっとまた方向が変わり始めたかなと。公園そのものの魅力をどのようにするかといった、非常に規模の大きい公園が多いですからクロスカントリーなども含めて新しい使い方みたいな、利用の仕方みたいなものが提案として出てきている。そんな感じなのですよね。だから「A」がだ一っと並んでいるのもそのあたりにあるのかなという感じがして、もう少し何かここら辺で、いろいろもっとバリエーションが出てきてしかるべきだなと。もしそれが出てきていないとすると、評価している項目自体をもう一回どこかで見直す必要があるのではないかなという感覚はちょっともちますね。またぜひ、これは事務局のほうだと思いますが、ご検討の中でいろいろしていただければ

ありがたいなと。そんな感じがします。ということでお願いをちょっとしておきたいと思いますが、評価としては今皆さんご確認いただいたようにおおむね「A」評価、「S」と「A+」が1つずつということで、この評価でやらせていただくということで、よろしゅうございますでしょうか。どうぞ。

○守泉委員 1点が、秋留台公園のユニバーサルスポーツの取り組みなのですが、秋留台公園がこういうことをやっているのをオリパラの部署は全然知らなかった。せっかくですから東京都の中でも連携して、もうちょっと障害者スポーツ関係の部分の裾野を広げていただきたいなと思います。

2点目としましては、意見のところにも書いたのですが、直接今回の評価とは関係ないですが葛西臨海のところがバーベキューの部分とかで外部委託を6月に変えていますよね。傾向としてはすごくいい形になっていると思うのですよね。僕もこの前予約したのでちょっと実態をみてこようと思うのですが、手続的な面でみたときに、このところは指定管理の部分の領域でやっているのか。もし指定管理のところで行っているのであれば、そもそも事業計画の中に盛り込んでやってきている活動なのかというところをちょっと教えていただきたいなと思うのですけれども。

○岡田課長代理 バーベキューにつきましては指定管理外でございます。

○守泉委員 それならば評価の部分としては来年も、海のところの建物とかありますよね。あれも中の変えましたよね。

○岡田課長代理 あそこのレストランも指定管理者の管理区域外という形で。

○守泉委員 来年も評価対象外なのですか。

○岡田課長代理 そうですね。

○守泉委員 実態としてみると、ああいうことをやることによって公園全体としてみれば、パークPFIの思想みたいなものが実現されている形になっているなと思うのですが、ではこちらの指定管理としての評価の部分が、それが全くない形になるのかなと思ったのです。

○岡田課長代理 営業的な部分については直接東京都のほうでやらせていただいて、それ以外の管理運営の部分を指定管理者を導入して実施しているところです。

○守泉委員 なるほど、わかりました。ありがとうございます。

○前田委員長 なかなか行政も含めてあって、複雑な管理形態をとらざるを得ない部分があるだろうと思うのですが、我々が評価する範囲はここまでだよというのは、あ

るときにしっかりお示しいただくと、なおありがたいなという感じがします。

では、防災グループに関しましては武蔵の森公園を「A+」にして、その他を評価案どりということでもよろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

では、続きまして文化財庭園の審議に入りたいと思います。ご説明をよろしくお願ひします。

○岡田課長代理　それでは、11ページをごらんください。評価につきましては全庭園で一致してございます。浜離宮恩賜庭園が「S」、六義園、清澄庭園が「A+」、そのほかは「A」となっております。

コメントにつきましては、浜離宮恩賜庭園での鴨場の補修など、そのほか各庭園におきましても保全管理計画や史資料に基づいて庭園の景観の保全を進めていること。そのほか江戸庭園文化の発信に向けた各種取り組みについて、評価をいただいております。また、施設の魅力を感じてもらえるような文化体験プログラムの実施ですとか、Night Garden in旧芝離宮恩賜庭園では新しい庭園利用の好例として評価をいただいております。その旨追記しております。

文化財庭園グループの説明については以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。文化財庭園グループにつきましては委員から何かご提案、どうぞ。

○守泉委員　直接ここにも書きませんでしたし、直接評価に関係あるかどうかはわからないですけども、今江戸時代のものに、植栽というものに関して戻す形でやっているように話されていますが、少なくとも明治時代と比較すると、明治のときの東京というのは、気候的にいえば現在でいう仙台に当たるとなっております。つまり地球温暖化とともに、昔に戻そうと思っても気候自身が変わってきている。それに対して戻すことをやった場合にどうしてもうまくいかない部分とか、どこかを調整しなければいけない部分があって、大体いつもこの記載だと、このような形で戻してこうやっていますといういい部分しかないですけども、その部分で気候変動との間であつれきがある中をどうやって調整しているのか。そういう部分がもうちょっと報告とか、それからコメントの中に入れられるような形で情報が入ってくれば、よりもうちょっとこのところが、環境問題もかわる深い意見が書けると思うのですよね。ですから、その辺のところを現場がどのように対

応して、特に現場では、実はこういう問題が生じているのだよねというところを、なるべく情報としてこちらのほうにいただければありがたいなと思います。

以上です。

○前田委員長　今の委員の意見は、本当に現場を預かる皆さんは日々感じている部分なのだろうと思うのですが、なかなかこういったところにはあらわれてこない。また我々がお邪魔してご案内いただいているときは、やはり成果のあらわれたものをどうしてもご説明されるものですから、そういった点でのご発言だったかなという気はします。非常に苦労している点、またなかなかうまくいっていないところもあるのだということも含めて、ご説明いただくとありがたいなということだろうと思いますので、そこはひとつよろしくお願ひしたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。——今のお話とも若干係るのですが浜離宮だとか、それから後樂園だとか、六義園だとか、いわゆる名園といわれているものに関しては、非常につくられたときをしっかりと押さえてということと今やっておられますよね。あれはあれでと思ったのですが、全ての庭園が同じレベルにはならないので、そのあたりがどうなのかなと思っていましたら芝離宮の使い方が、芝離宮の庭園そのものの価値は当然あるのですが、ほかの庭園に比べてということとくとなかなか見劣りのところがあるだろうと思いますが、逆にまちなかといいますか、非常にビルの多いところにある日本式庭園といいますかね。そういったもののよさみたいなものを、ここで何か試みとしていろいろやられているのは新しい考え方かなと。常に時代だけにとらわれていない感覚というのは、僕はすばらしいなと思って伺ったのですけどね。そういう発想もぜひ入れながらやっていただくといいかなと思いますね。——ほかに皆さんから何かご発言、どうぞ。

○森本委員　事務局案の管理状況が、余り褒めているのが少なかったものですから気になって、私も結構意見を加えさせていただいた中で、今の二次評価コメント（案）で保全管理計画及び史資料に基づき庭園有識者に諮りながら、これは極めて庭園の管理の基本をちゃんと押さえていますよということとこの評価をみる方々に、要するに都民全般に対してもちゃんとしっかりした史資料とか、有識者とか、そういうものを踏まえてやっているのだというところを一番褒めたいのですが、この1行ぐらいで伝わるかどうかというのが懸念。もうちょっと褒めてあげたいなという気がしまして、今ご意見の欄で植村委員の景観が明確になりより美しくなっている。そのようなことも含めて書いていただくと、通常の維持管理ではなく景観をつくり上げていくために、文化財として適切な管理が行われて

いるという意味をちょっと強調して、これが一番このグループの責務でもありますので、強調していただきたいなと思います。

○前田委員長　ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

○守泉委員　何か細か過ぎて個人的なのかもしれないですけども、殿ヶ谷戸庭園に行ったときに、当時はそうになっていたのかもしれないですが建物に入るところの部分に竹で、いわゆる華道とかで結界という形で、ここから入れないみたいな形のものがあるのです。結界ってすごいこだわるとすれば竹でも亀甲竹を使って、京都などはそうやっていて、その話をしたときに向こうの担当者は全然わからなくて、ただにこにこ笑っていただけで。当時は違うのかもしれないけれども、そのくらい何かもうちょっとこだわってもいいよねというところで少し感じた部分があります。植栽どうのこのだけではなくて華道とか、茶道とか、その辺のところにももう少し意識がいて、こだわりをみせてくれるくらいまでもうちょっと欲しいなというのがありました。これは感想で余計なことなのですけども。

○前田委員長　おっしゃられることはわかりますよね。ただ、少なくとも我々がこの指定管理にかかわらせていただいて、現場をみせていただいたここ十何年の間の経緯でいうと、随分現場の職人さんといいますか、現場の職員の方も非常に勉強しなければいけないという意識でされた結果がみえているなと思いますけどね。ただ、今守泉委員がおっしゃったように、まだまだだよといわれればまだまだなのかもしれませんけどね。そういったあたりも本当はこだわりをみせてくれるといいなと思います。

ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

では、文化財庭園グループは二次評価案のとおりでよろしいということで、決定させていただきたいと思います。

続きまして、神代植物公園に移りたいと思います。よろしく申し上げます。

○岡田課長代理　12ページをごらんください。評価は一致してございまして、「A+」となっております。

コメントにつきましては、まずボランティアと協働した雑木林の管理活動を開始したことですとか、ジンダイアケボノ、桜の品種の開発普及など、高い栽培技術の成果について評価をいただいております。そのほかサクラソウなど江戸園芸文化を伝える情報発信、国内屈指の植物園として研究成果の発信や、利用者各層に応じてわかりやすく伝えるため

の努力についての期待もいただいております。また地元団体と連携した天体観測会の実施ですとか、若手スタッフのアイデアを取り入れたアニメとのコラボイベントなどについても評価をいただいております、その旨記載させていただいております。

神代植物公園の説明については以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。

神代植物公園につきまして、委員の方々からコメントがございましたらお願いしたいと思います。

○森本委員　管理状況に、まず植物多様性センターのことを書いているのですけれども、植物園全体の評価から始めて植物多様性センターではというようにするべきだと思いますので、前田委員長の案はセンターを内包している植物園全体を国内屈指といっているはずですから、そのところが最初にあったほうがよいかと思います。

○荻原委員　ちょっとここにも書かせていただいたのですけれども、評価としてはこれで多分いいと思うのですが、この前の発表のときでも、すごく頑張っているけどなかなか来園者が上がらないという話がありました。ずっとみていますと、どこで頑張るかという、やはりご専門の方が多いで園芸種というほうに、どんどん頑張れば頑張るほど園芸種の展示というほうにどんどん頑張っていかれて、コアなお好きな方は多いと思うのですけれども、それをどうやってもう少し、例えばガーデニングとか、ロケーションとしてみて普通の人も楽しめるような見せ方とか、PRの仕方とか。ポスターとかみてもとにかく園芸種が中心で、菊とか、そういうものに関心があれば行くけど、ああ、すごい素敵な公園っぽいから行こうみたいな気軽な感じで行ける、集客するという発想ではないような感じがするのです。ですから、ご指導なのかわかりませんが、普通の人が行くのだとロケーションですとか、ガーデニングとか、そういう見せ方の同じようなものでも、バラにしても造園として素敵だということをPRの中でも出していくとか、そこにカフェがあるととか、そのようにもっていくとふえるのではないかなというようにちょっと思いました。イギリスとか、そういうところのキューガーデンとか、ロケーションとして素敵で、カフェが素敵だということで人が来ていたりするので、そういう工夫も必要かなと思います。

○前田委員長　非常に重要なポイントだと思うのですが、どうしても学術的な植物園としての部分があるので、そこにウエートがいつてしまうと一般の方という意識が、うまくそこに連携し切れない部分があるのですかね。今おっしゃったように、ロケーション

としては非常にいいところはいっぱいあるのですよね。そこをもう少し何か工夫してあげれば、多分そういうときの目線というのは科学者ではない目が要るだろうと思うのですが、指定管理者の中のある部門の人たちがそういう目でみないとという感じはしますね。みんなが学術的なほうでしか物がみられなくなってしまうと、一般の方にどのようにみてもらうかというあたりの観点が薄れてしまうのかもしれない。それは私も役人をやっていたから、役人が管理する公園はおもしろくないといわれて、もうずっとそのようにいわれてきているのですが、そういう部分はどうしても出てくるのだけれども、それに新しい考え方をうまくコラボさせるといいのかもしれないという感じはしますよね。それをぜひ。

○荻原委員　多分園芸家の方たちが、園芸家のための園芸家の何かみたいなことになっているので、ガーデナーとか造園家が入ってくると全然違ってくると思うのです。

○前田委員長　そういう素養をおもちの皆さんも、多分指定管理者さんの団体の中には随分おられると思うのですが、なかなかそういう目がそこには出てきていないのかもしれないということなのかもしれませんね。

○守泉委員　今のにちょっとつけ加えて、植村委員の意見の中に書かれているように地味だが日本人の好みに合うもので、知っていればみたいという人は多いと思うというように江戸園芸を捉えていらっしやって、実はさっきの話なのですけれども、公文書館でも1年前か2年前のときに特別展ということで江戸園芸をテーマに、それに関してのいろいろな文書を展示したのです。そのときに、それだけのやつで捉えていったらすごく地味なコアなテーマだけになってしまうでしょう。では、それを一般的に向けるにはどうすればいいかということで対応したときに、江戸園芸を中心に置くにしても、それをめぐる世間のいろいろな出来事みたいなもの。みんながよく知っているような話みたいな、そういうものを中心にまずもって行って、その中で江戸園芸のこういうものがかかわっているというような形の展示の流れにしていったのですよね。今もお話があったみたいに一般向けするような形でお客さんと呼んで、その中で、ああ、なるほどねとみせてあげるためには、一般的な中での位置づけみたいところをうまくつなげていってみせることが大事なのかなと思いますので、その辺のところはせっかくいいものをもって、いいものをみせるためにどうやって呼ぶのか。どうやって理解してもらおうのかというところは、都のほうでもう一つご指導いただければありがたいなと思います。

○前田委員長　ほかに、よろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、神代植物公園につきましては二次評価案のとおりということで、「A+」という評価にさせていただきます。

続きまして、夢の島公園、それから夢の島熱帯植物館の審議に入らせていただきます。事務局、お願いします。

○岡田課長代理 13ページをご確認ください。評価は一致してございまして、両施設とも「A」となっております。

コメントですが、東京2020大会の会場整備による制約がある中、代替地の確保などの工夫によって実施をして、イベント等を実施して利用促進に努めていること。また、夢の島熱帯植物館の開館30周年記念誌の編纂や展示についても評価をいただいております。あと夏花壇についてはさらなる充実や参加ボランティアの拡大、2020大会後の取り組み継続についても期待の意見をいただいております、その旨記載しております。

夢の島公園、夢の島熱帯植物館の説明については以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。夢の島公園、夢の島熱帯植物館について二次評価案どおりということで、よろしゅうございますか。ほかに何かコメントしておきたいことがあれば。

○荻原委員 先ほどと同じようなコメントで、個人意見のところでは書かせていただいているのですが、デザイン的なところがちょっと弱いなど。トロピカルな感じの、夢の島というのだったらもう少しわくわくするものがあるといいのですが、ホームページを拝見しても、行っても展示とかもちょっとデザイン的なものが弱いと思います。葛西臨海公園とか、上野動物公園とか、デザイナーを雇ったといっているんですけども、デザイン的にグッズにしる展示にしる相当レベルが高くなっているのは、ちゃんと職員の中にデザイナーが入っているところが違うのかなと思います。そういう意味では、それを都のほうでどのようにご指導されるのかわからないですけども、武蔵野のほうでもディスプレイなどが非常に、一つ垢抜けて公共施設とはちょっと一味違うものが入っておりますので、夢の島は本当にちょっとしたことですごく素敵な、中身がすごくいいので、ちょっとしたディスプレイですとか展示空間のつくり方でぐっと、特にホームページをもう少しよくしたほうがいいなという感じがいたします。それはただの意見ですから都のほうで聞いてくだされば結構です。

○前田委員長 ありがとうございます。私なんかだと全く異質なものを夢の島というこ

とで子供時代に、ああいうものをわざと夢の島というのだなみたいな感じで育っていますので、まさにパラダイスの夢の島にある意味非常に近づいてきていますから、また違う発想をうまく取り入れてもらったらいいかなという感じがします。私なんかだと夢の島といったときに、残念ながら昔のごみの埋め立てというイメージしか出てこないものですから、その辺は今おっしゃったような点、もう少し工夫をまたお願いできればというご意見だったかと思しますので、この評価に関してはよろしゅうございますでしょうか。

○荻原委員 はい、結構です。

(「異議なし」の声あり)

○前田委員長 わかりました。ありがとうございます。

続きまして、潮風公園、台場公園に移らせていただきます。事務局からお願いします。

○岡田課長代理 14ページをごらんください。評価は一致してございまして、両施設とも「A」となっております。

コメントにつきましては、環境美化活動や保育園との環境学習事業など地域連携の促進ですとか、続100名城スタンプラリーへの協力などのPRに資する取り組みですとか、旅行口コミサイトやポケットクの活用による外国人利用の促進に向けた取り組みなどについて評価をいただいております、その旨追記させていただいております。

潮風公園、台場公園の説明は以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。潮風公園、台場公園につきまして何かコメントがあればいただきたいと思いますが、台場公園ってどうやってPRするのかなど。この公園をずっとみたときから思っていたのですが、こういうやり方もあるのかなと思って。100名城云々といったところに、そうなのかと。全く違う発想で、ああ、そうなのだ。だからやりようというのはいろいろあるのだなと思って、そのときにちょっと勉強させていただいた気がしましたが、ぜひこういったことも含めてうまく回ってくれるといいなと考えています。この評価に関してはよろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

では、続きまして横網町公園に移ります。よろしく申し上げます。

○岡田課長代理 15ページをごらんください。評価は一致してございまして、「A」となっております。

コメントにつきましては、外国人観光客の利用促進にも寄与する広報活動、あと松の雪

づくりなど慰霊の場としてふさわしい空間づくりですとか、公園外に出る新たな取り組みとして、まちあるきガイドツアーの実施について評価をいただいております、その旨追記しております。

横網町公園の説明は以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。横網町公園の評価につきましてはいかがでしょうか。——よろしければ、この評価ということでさせていただきます。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

続きまして、東京臨海広域防災公園につきましてご説明を、まずお願いします。

○岡田課長代理 16ページをごらんください。評価については、荻原委員から「A+」評価をいただいております。

コメントにつきましては、ぼうさいモーターショーなど公園の特徴を生かしたイベントが定着してきたこと、あとぼうさい運動会など親しみやすいネーミングを工夫して、参加しやすいように工夫をしていることなど評価をいただいております。また花の楽しめる公園づくりが進められてございまして、市民が参加した魅力的なデザインの花壇整備についても評価をいただいております。その旨追記をさせていただいております。

東京臨海広域防災公園の説明については以上となります。

○前田委員長 ありがとうございます。この東京臨海広域防災公園につきましては、荻原委員から「A+」の評価というご提案が出ていますので、まず荻原さんからご発言いただいております。よろしく申し上げます。

○荻原委員 点数が50点なのでかなり高い。あと1、2点で「+」になるレベルなのかなというのがあるのですけれども、初めのころは、何年か前はがらんとしたところで、大きなイベントを年に何回かやるみたいなことでしたけれども、本当にことし特にみえますとコミュニティレベル。周りの埋立地、新しい住宅がふえてきた中で非常にコミュニティに飢えている家族に向けて、それにニーズの高いイベント。プレイパークとか、そういうものを頻度をかなり高くやっていたらっしゃると、ガーデニングの花壇も地域参加でかなりやっていたらっしゃるのが評価できる。費用対効果でみて正職員が2人でよくやっているなど、とてもびっくりしています。相当な努力をして2人で回しているのだろうなど。かなり地域の組織などを巻き込んで企画されて、地域のニーズに応えるという意味ではとても高いのかなと。

もう1つ、前にちょっと計画のところ、普通ですと年度の事業計画の予算は大体同じくらいで毎年計画しているのが、だんだん減らしていくみたいな予算でどうしてかなと思ったら、事業をすることで少し収益を上げていくみたいな書き方をしていました。それが本当かどうか、評価できるのかどうかわかりませんが、割と地域ニーズに応じてかなりイベントの頻度を上げたり、ガーデニングをやっていることと、それから費用対効果として割と高いのではないかという感じがいたしまして、事業のところでもう少し点数が上がってもいいのかなというように、事業効果という点で水準を上回るのは1つだけでしたけれども、下のほうの市民協働の取り組みとか、自主事業の取り組みというところでもうちょっと点が上がってもいいのかなと。そうすると「A+」になるのかなという印象をもちました。

○前田委員長　ありがとうございます。ただいま荻原委員からご提案がございましたが、これに関して皆さんの意見はいかがでしょうか。

○森本委員　ここの公園の場合、国営公園と一体的に管理するところで、都営公園の部分が実際はどんな管理なのかというのはなかなか評価しづらい。一体だからこそいろいろなイベントも、広場も両側を使って大きなイベントも呼び込めるということなので、評価するにしても純粋に都立公園の側だと何にもない原っぱで、そこに花をどんどん増してというところに一番褒めたい部分がどうしても出てきてしまうのですよね。管理費、さっき人数のこともいって、国営公園の側にも職員がいるわけですから一体的ということは、そちらの運営要員の働きと都立公園の働きがどうなのか。シビアにみるとどのように評価していいかわからないですけども、どんなものでしょうか。

○前田委員長　指定管理者さんは、両地区とも同じところがやっておられているのです。片方を国のほうが発注し、片方を都が発注するという形の中で、森本委員がおっしゃられるように、一番最後に受けている指定管理者のところ、一体性を保ってくれということなのだろうと思いますが、恐らくそこから上に上げたときに、上が余り一体でないものだから自分のところの範囲の話はこう、こっちはこうというような、どうもそういう仕切りがまだちょっとあるのかなと思わないではないですけどね。広場部分などは別に線を引っ張っているわけでもないのだけれども、植物管理などをやる日にちが違っていたりとか、明らかにここで分かれているというのが視認できるようなこともあったような気がするのですよね。その辺は多分行政のほうもお互いにやりづらく感じながらのことかなと思うのですが、実際にはそうなのですかね。

○森本委員　実際はどうかかなと。例えば遊具がないから大きなボールだとかきっとしまっている場所は、国営公園の側の管理施設にしまっているわけですね。別に仕切る必要はないといえないです。都立公園の管理費と管理要員の働きとみるのかどうかがわからないなというようなどころがありまして、エリアの植物は明快だなというだけなので、書きようの問題なのです。つまり国営公園と一体的に防災意識を高めている褒め方はできると思うのです。一体的に大規模なイベントで集客をしている。そういう褒め方はわかるかなと思います。だから「A+」かという、都立公園側の施設状況でいろいろ工夫しているということでは過去にもどんどんきれいになってきたので、褒めたいなという気持ちはありましたし、徐々によくなっているのです。

○守泉委員　今お考えになっている部分のところというのは、恐らく当初この公園のところ、今回のときのマネジメントプランで考えたときの状況と、公園をめぐる周りの状況が大分、急に変わってきた部分があるのではないかなと。タワーマンションみたいなのがどんどんふえてきて、住民がどんどんふえてきて、それでこの公園に対してのイメージというのが今までと違う形で今急激に変化していて、その部分は一生懸命応えようとしているところで、だけど周りの人が思っているのはそんなものではないよというところが、一部アンケートの部分で水準どおりになってしまっているところがあって、ちょうど今あつれきの部分で。だけれども、プランの中になければ変化に対応している部分。やっているところというのが、何か応えてあげたいねというところがあるのかなと思うのです。

○荻原委員　そうですね。

○守泉委員　評価が1ランク上がるかどうかは別としても、少なくとも得点でもう少しあらわれてもいいのかなとは思いますが。

○小松管理課長　国営と一緒に一体的にやることによるスケールメリットは、ある意味もう期待済みといいますか、織り込み済みでお願いしているわけですから、それはそれで期待に応じてやっていただいているというところは、ですから、その辺は思惑どおりといえましょうか。それ以上のものを都立公園側で果たしているのかということについては、確かに目標の示し方も難しいと思うのですが、それは今守泉委員がいつにいただいたように、急激な変化等に敏感に反応していく。例えば植物の範囲であっても、めでていく人たちのニーズに合わせた植物で対応していくところについては、今ちょうど頑張りかけかなというか、追いつこうとしている途中かなというのが、現場感覚からいうと正直なところかなと思います。ちょっと高い志を、国営と一体管理。違う公園でもあるので、若干少し

目標を高くもってもらいたいなというこちらの思いもあるものですから、一次評価のほうですと何となく普通にやっているねというぐらいのところしか示しようがないので、その辺の努力目標を先生方でちょっと加味していただける分には、指定管理者はすごく励みになるのかなというように現場としては思います。

○前田委員長　委員の方のコメントなどでも周囲が変わってきたことを踏まえた新しいいろいろなイベントだとか、イベントの中身といったことは皆さん触れていただいて、評価いただいていますので、そこをぜひもう少し力を入れていただいて、成果につなげていただくといいということなのだろうと思います。そのあたりが我々も少しずつは書かせていただいていたような気はするのですが、それがうまく伝わってくればいいなと思いますけれども、いかがでしょうか。評価そのものを頑張っているねで「A+」がいいのか、期待度を今のコメントの中から読み取ってもらうことで「A」のままにするかというあたりはいかがですか。

○荻原委員　後者で結構です。

○前田委員長　そうですね。ありがとうございます。ここは委託の期間が国との関係があって、また見直しの時期にもかかるものですから、ぜひ次回の期間の中で国を含めての調整みたいなものを、目標値をもう少し考えていただくような提案をぜひお願いしたいなという感じはします。それであれば、その中で多分我々の考えているような、別な意味での評価がプラスできるのではないかと。そんな感じもするものですから、一応ここは「A」評価で置かせていただいて、そういった期待度を少しコメントの中から読み取ってもらうようにさせていただきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

○荻原委員　はい。

（「異議なし」の声あり）

○前田委員長　ありがとうございます。では、そのようなことで整理をさせていただきたいと思います。

続きまして、動物園の審議に入りたいと思います。事務局からご説明をお願いします。

○岡田課長代理　17ページをごらんください。評価につきましては、恩賜上野動物園、葛西臨海水族園について網野委員から「A+」評価をいただいております。そのほかの施設につきましては一致してございまして、「A」評価となっております。

コメントですが、恩賜上野動物園のシャンシャンの繁殖と、あと展示開始ということもありまして入園者数が2年連続増加し、25年ぶりに4園合計800万人を超えたことに

ついて評価をいただいております。また各施設ですとか、印刷物デザインの工夫などについて、より魅力的な展示の発信を行っていることについてもコメントをいただいております。あと真夏の夜の動物園、ドリームデイやドリームナイトなど企画のノウハウが蓄積されてきていることですとか、井の頭自然文化園の彫刻館のパンフレットによる情報発信。加えまして、国内外の研究施設や動物園等との連携、先駆的技術の導入によります野生生物保全の取り組みについても評価をいただいております。その点、追記をしてございます。

都立動物園の説明については以上となります。

○前田委員長 都立動物園に関しては、網野委員から上野及び葛西臨海水族園に関して評価を「A+」にしたかどうかというご提案をいただいております。この点について、まずご発言をいただければと思います。

○網野委員 まず上野動物園ですけれども、シャンシャン効果とってしまえばそれまでなのですが、少なくとも平成29年度に450万だった入園者数が、平成30年度は496万人とかなり増加しているという事実。それからこの間の取り組みとしては野生生物の保全、希少動物の繁殖への積極的な取り組みとか、新たな個体の導入。それと、やはり海外の動物園との協定ですとか、国内の動物園との協定。それからいろいろな団体との連携によって、飼育技術の向上とか先駆的な技術の導入、利用促進の情報交換などに非常に積極的に取り組んでいるというのが私の感想です。確かに不適切な事務処理とか、不十分な管理体制というマイナス面はあるのですけれども、それを差し引いてもこれらの取り組みというのは「A」、いわゆる水準どおりではなくて、水準を上回っているように私は感じた次第です。

以上です。

○前田委員長 ありがとうございます。このところ動物園の4園に関しては余り高い評価がずっと出ていない状況の中で、全て「A」が並んでしまうのが果たしていいのかどうかということを含めてご議論いただければと思いますが、今網野委員からおっしゃられたように個々のいろいろ不適切な部分は差し引いても、十分おつりの来るような努力をしている部分。ここをもう一度見直してはいかがかというご提案かと思いますが、それに関していかがでしょうか。ご発言ありましたらお願いしたいと思います。

○守泉委員 今網野委員が書かれている部分というのは事実だと思うのです。それは特記事項では書かれているのですけれども、実際の評価のところではどこが評価項目になる

のですか。例えば直感的なあれですが、高い飼育技術を生かした動物園のさらなる魅力の向上といったときに、これの評価点はさらなる魅力の向上を図ったかどうかというところかもしれないですけども、水準どおりといったときに上野動物園が高い飼育技術はないのですかという話にもなりかねなくて、何のために特命をしているのですかというところはあるのだと思うのですよね。少なくともそういうところを、ただ特記事項で書かれているだけではなくて、何らかの評価するところがあってもいいと思うのですけれども。

○岡田課長代理　一次評価の考え方に入ってくることでありまして、確かに日本トップの動物園でございまして、種の保存などにつきましてはもうずっと高いレベルをキープしているという状況です。その中でさらに水準を上回るとするか、水準どおりとする。どっちにするといったときに、事務的には前年とどう変わったかだとか、そういう視点で評価しているところがございます、ちょっと高どまりしている状況なので、事務局評価として一次評価ではそれほど上げなかったという状況がございます。確かに高いレベルはずっと保っているような認識はございます。

○前田委員長　これは先ほどの防災公園の話ともちょっと絡んでいるのかもしれませんが、評価の見方の話ですよね。今守泉委員がおっしゃったように高いところにいるなら、初めから高い評価でいいではないかと。去年が高かったからことしも高いのだよという話を、去年と変わらないからそのままだというようにみるか、高いところで横に並んでいるのだとみるかというところの違いだという気はしますけどね。一次評価ではなかなか整理がつかないということであれば、ここである程度皆さんに議論をいただいて、そこを見直すこともあってもいいのかもしれませんがね。それに関してはいかがですか。まさに網野委員のご発言は、その部分を指摘されたということだと思います。

○網野委員　なかなかそこら辺の評価は難しいと思うのですけれども、非常に飼育レベルも高い。入園者数も増加しています。でも「A」評価ですというと、では上野動物園と葛西はずっと「A」以外にあり得ないということになりますよね。そこは考え方だとは思いますが、それでも「A」なのかなというところがちょっと私は疑問に感じたので、今回意見としていわせていただきました。

○細川委員　恐らく評価基準のつくり込みの仕方の問題があって、例えば希少動物の繁殖というのは幾ら頑張っても2点なのですよね。5匹でも10匹でも2点というようなところの考え方を、指定管理の切りかえの時点でないと恐らく評価基準はなかなか、中間見

直しはあるのでしょうか。

○岡田課長代理　　あるのですが。

○細川委員　　だけど、そこまでは難しいよね。

○岡田課長代理　　募集要項からさかのぼらないと。

○細川委員　　そういうレベルの話は今されていて、例えば庭園などは割と高いところでずっと維持ができてきているのは、1つの計画目標があって、その目標に毎年毎年近づけているという実績があるのですよね。ただ、動物の繁殖というのは着実に頑張っているのですが、積み上げになっていないというような、何か構造的な問題を含んでしまっているのかなという気がしております。

○前田委員長　　おっしゃるとおりですね。確かに大分前にも同じような議論をしたことがあるような気がするのですが、この指定管理の基準はある公物をどうよく管理しているかという観点の管理という視点がどうしても強くて、公園の場合にはその下に運営といいますか、みたいなものを少しカバーしているのですけれども、それは上の、いわゆる公物をどのように管理したかというところをまずやらないとという仕組みは、もうしようがない部分もあるのですよね。それが多分都でというか、国も含めてだろうと思いますけれども、公物を管理している者のつくるマニュアル上はそうならざるを得ない。そこに幾らかでも加えようというのは、ここの中で後ろのほうの利用だとか、それから利用者の目線だとかというものを加えてはいるのだけれども、それがバランス的にどうかという動物園協会さんのプレゼンをいただいたときには飼育の部分があって、そして育種的なものもあって、それを一般の人たちにお見せする教育といいますかね。そういったものが三位一体で仕事をしていますよというご説明をいただいているのですが、ではそれがそのままここに反映しているかという、必ずしもそうではないかもしれませんが。そこは我々の委員会の中で裁量として許されるのであれば可能な範囲で訂正といいますか、ある程度の幅をもたせることは可能なのではないかなという感じはします。また恐らくその辺は事務局もお考えになってのことだろうと思いますので、ぜひ皆さんの意見によって考え方を少し整理したいなと思います。いかがでしょうか。

今に始まった話ではなくて多分ずっと続いてきている課題だとは思いますが、確かに指定管理の動物の部門はスタート時といいますか、5年前ぐらいには「S」が並んでいたかと思うのですが、そこから大分下のランクに落ちてきている。一般的にみれば落ちてきているとしかみられないような、個々の管理の不備みたいなものが指摘されたこともあって、

そういうもので揺れる部分は当然あるのだと思いますけれども、高い飼育能力といいですかね。そういった点だとかのあたりは変わっていないと考えればということかなと思いますが、いかがでしょうか。一気に「S」ということは無理にしても、今比較的点数の高いところを、「A+」という評価を入れることに関してはよろしいですかね。

○荻原委員　この中では葛西臨海水族園が一番高いと思うのです。

○前田委員長　恐らく葛西をとということに関しては、皆さんいいのではないかとっていただけるのではないかと思うのです。

○荻原委員　随分雰囲気がよくなったといたしますか。

○前田委員長　上野はいかがでしょう。今の点数ではまだ、後の井の頭や多摩のほうが少し点数が高いような状況にあって、みんなそろって上げるわけにもいかないとすれば葛西をまず、葛西はこの間みせていただいて、屋外の展示なども含めてまだまだいろいろ工夫していただく部分はあるのだと思いますけれども、かなりいろいろなことをやっておられる。出張展示的なものも随分実績を上げておられることからすると、葛西をまず「A+」ということで位置づけさせていただいて、それに倣ってほかの園ももう少し工夫、努力をしていただく。そんな方向でまとめさせていただいてよろしゅうございますか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。では、私一人が何か発言したみたいなところもありましたが、都立動物園につきましては葛西臨海水族園を「A+」というようにさせていただいて、あとは「A」ということで整理をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

では、続きまして都立霊園につきましてお願いします。

○岡田課長代理　18ページをごらんください。評価は一致してございまして、八王子霊園が「A+」、その他の施設が「A」となっております。

コメントですが、霊園利用者に対するきめ細かい対応、荒れ墓所への対応など墓所環境の改善。あとインバウンドを考慮した竹垣等による風景づくりですとか、耐陰性にすぐれた芝の導入による芝墓地の景観維持など評価をいただいております。また芝生の火災警戒レベル情報の政策ですとか、都立霊園使用者カードの発行などについても評価をいただいているところでございます。一方で、無縁墓地の改葬予告立て札の設置ミスなど事故の再発防止についても意見をいただいております、記載をしております。

東京都霊園の説明は以上となります。

○前田委員長　ありがとうございます。都立霊園につきましては皆様一次評価案を受け

ていただいた評価になってございますが、これはこれでよろしゅうございますか。何かコメントがあればいただきたいと思いますが。

○森本委員　八王子霊園が「A+」、ああ、なるほどねというような部分が欲しいなと思ひまして。私、コメント欄に八王子霊園では芝墓地のと書いたのですが、耐陰性芝生の導入は前年度だったというところで、前年に導入して今年度順調に生育をみせているような書き方をしたのですが、同じような意味合いで細川委員も意見の欄に書いていらっしゃるものですから、できればコメントのほうに八王子霊園ではというようなことを加えてはいかがでしょうか。

○前田委員長　そのあたりの記述はちょっと工夫をしていただいて。

○岡田課長代理　追記をさせていただきます。

○前田委員長　都心部にある霊園は大分きれいに管理をしていただいています、なかなかそこからさらにというところを目指すのは難しい部分もないではないですよ。そういう意味では、八王子あたりは非常にいろいろな工夫が可能であるということなのかもしれないけれども、評価そのものはこれでよろしゅうございますか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。では、そういうことで整理をさせていただきたいと思ひます。

最後になりますか。瑞江葬儀所ですが、ご説明をお願いいたします。

○岡田課長代理　19ページをごらんください。評価は一致してございまして、「A」となっております。

コメントですが、老朽化した火葬炉などの施設を修繕しながら安定して稼働させていること。あと、お客様の心に寄り沿う接遇や運営の工夫などについて評価をいただいております。また、これらの地道な努力によって利用者満足度も向上しているということでコメントをいただいております、その旨記載してございます。

瑞江葬儀所の説明については以上となります。

○前田委員長　瑞江葬儀所につきましては「A」評価ということで一次評価と同じですが、いかがでしょうか。何かコメントがあればいただきたいと思ひます。

（「異議なし」の声あり）

特にございませぬようでしたら、一次評価案をそのまま二次評価として決定させていただきます。ありがとうございます。

一応以上で全ての二次評価が決定したことになります。全体を通して今後に向けての提

案等、個々の中で大分意見もいただいておりますが、なおこの点はということがあればお願いしたいと思いますが、何かございますでしょうか。

○荻原委員　評価の視点で、委員長も少し変わってきたから評価の視点を変えていったほうが、見直していったほうがいいのではないかなんておっしゃったので考えて意見なのですが、事業効果に対する評価で割と項目で書いてあるのがちょっと単純というか、わかりにくいというか。こちらも、これ、どういうことなのかというのが難しいところがあって。例えば今回の発表では、では協働をやらなければ、協働といったら協働の事業をばっとただやるとか、イベントで集客を上げなければといったらもうお菓子を配ってでも集客するみたいな、そういうほうに行きがちなところがあるのですけれども、これを戦略的にやっているところとやっていないところが、もう少し個々の公園で何が求められているかということに対して戦略的に組み立てて。例えば自然環境とか、ガーデニングとか、協働事業によって美しい魅力をつくり出すのは、魅力をつくるのと協働事業はばらばらのことではなくて、それが一体となって戦略的に行われているかどうかという評価が大事ですし、イベントにしても何か思いついたことをやってお客さんが何人来ましたみたいな、1,000人来ましたということでの評価ではなく、それをやることでそれぞれの公園が求められているミッションをどう解決していくのか。将来どういう形にもっとしていきたいのかというあたりをどう評価するかはすごく難しい。マル・バツ、1、2、3という点数でもなく、そこら辺の評価の仕方をどう都のほうで示すかによって努力目標がみえてくるのかなと思います。

里山とかテーマのはっきりしているところは割とやりやすいと思うのですが、例えば防災公園の中の代々木公園とか、ああいうだだっ広いところは今までは防災だけだったけど、防災だけではだめだというのでイベントをやってみたというのではなくて、どうということが東京都の中で公園で醸成したい文化として、この公園ではこういうものが醸成されていくといい。また、多摩のほうのコミュニティだと割と、あったらいいなこんな公園みたいなワークショップをやって、マルシェをやってみたいなのはある程度目標が立てやすいのですが、都心の代々木公園みたいなところだと、幾つかあるような公園だと何がミッションでイベントをやればいいのかなかなかみえにくいので、そこら辺は何を目標にしたらいいのか、何が評価されるのかというところをもう少し示していくほうが無駄な努力というか、都民にとって費用対効果の余りないものを無駄にやって、点数を稼ぐみたいな方向に行かなくても済むのではないかなんて気がいたします。

○前田委員長　ありがとうございます。非常に貴重な意見だと思います。すぐに評価シートが変わるところまではいかないと思いますが、この評価委員会として評価の観点というものは、我々としては今のご発言等を踏まえながら考えて生かしてもらおう。我々がそういう姿勢を示していくことが今後とも必要なのではないかなと。おっしゃるとおりだと思います。

○荻原委員　もしかしたらもうおやりになっているのかもしれませんが、例えば魅力的な花壇というのは何だといったら全然評価をやる方によって感覚が違ってくるのだけど、いかにもいい感じでガーデニングをしているところと、ただ赤、黄色と列植しているところはみれば違うなというのがあるので、そこら辺を、こういうものを推奨しますみたいなことを都のほうでいってもいいのではないかなといえますか、違う方法で都民の中の人気ランキングみたいなものでもいいですし、人気のあるガーデニング写真集でもいいですけども、一般的に、ああ、こういうものを目指したらいいのだねというのがわかりやすいほうが、ではこういうガーデニングをしましょうみたいに示されると、いいモデルというのを、この評価の点数だけではなくてすごくいいモデルを何か示して、指定管理者のみんなにおみせして共有していただくことで、全体のレベルが上がるような方法ってあるのではないかなという気がいたします。

○前田委員長　ありがとうございます。多分今日この後、事務局からのお話の中に出てくると思うのですが、今回非常に長い指定期間であるものですから中間的な評価といったようなお話もあるかと思います。恐らく今おっしゃられたようなことを、もしそれに我々がかかるとすれば少しいつもの評価とは別な観点で、残り半分の評価をこのように考えるということがうまく出せたらいいなと。今ちょっと私自身はそんな感じもっていますが、またこれは後での話を受けてというようにさせていただきたいと思います。一応ここまでで予定の議事そのものは終了させていただきたいと思います。皆さん、どうもお疲れさまでございました。

傍聴の方はご退室をよろしくお願ひしたいと思います。

(傍聴人退室)

○前田委員長　この後、事務局からの連絡事項等があるようでございますので、委員の皆さん、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。

○園尾管理課長　それでは、事務局から今後の予定につきましてご説明させていただきます。

今日行っていただきました二次評価につきましては、本日ご決定していただきましたとおり、評価コメントについてはこの場での議論も踏まえて最終的な評価コメントを私どもで整理させていただきます、ご報告させていただきたいと思っております。

また、本日の二次評価に基づきまして、今度は建設局としまして審議をいたしまして、最終評価として評価を決定したいと考えております。

この後でございますが、8月中旬に指定管理者に評価結果を通知させていただき、9月上旬には東京都全体で一斉に指定管理者の評価結果をプレス発表させていただく予定でございます。今年度のプレス発表の予定日は9月3日ごろになるかと思っております。

プレス発表資料につきましては本日の二次評価結果をもとに作成いたしますが、「S」「A+」「A」「B」の評価結果を意識した記載など、公表時には文言を若干こちらのほうで工夫させていただくことになると思っておりますが、その旨ご了承いただければと思っております。公表用の資料につきましても、事前に委員の皆様にはご報告をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成30年度の指定管理者評価に関する今後の予定につきましては以上でございます。

別途、先ほど委員長からも前ぶれがございましたが、委員の皆様をお願いでございます。1つは、今年度、2公園の指定管理者選定がございます。もう1つは、10グループの中間見直しというのがございます。

日程調整など詳細につきましては私ども事務局から別途ご連絡、ご調整させていただきますので、引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。

連絡は以上でございます。

最後になりますが、私ども事務局を代表いたしまして、公園緑地部長の古川より一言ご挨拶させていただきます。

○古川公園緑地部長　委員の皆様におかれましては熱心にご審議いただきまして、ありがとうございます。また猛暑の中、現場視察も含めまして7、8月と6回、評価委員会を開催させていただいたわけですけれども、94施設という。これだけ膨大な量の評価をいただくということで、非常にご苦勞をおかけしたことを改めて御礼申し上げたいと思っております。

昨年度、平成30年度の評価ですけれども、指定管理者の3年目ということで、ある程

度後期の折り返しに近づいてきた段階になっていると思います。そういう段階におきまして委員の皆様から適切な成果についての評価と、それから今後このようにしたらどうだという方向性を示していただいたり、先ほどもございましたように評価について、例えば防災公園などについてはこれからもう少し、我々東京都として評価自体をもう少し考えていったらどうだというような提言をいただいたりということで、今回の皆さんのご意見で、私どももこれから考えていかなければいけないところがあるかなと思っております。

東京都として、当然これだけ公園をやっていく中で指定管理者の方々に対しての指導もしていくわけがございますけれども、そういった中で一体となって都立公園が都民の皆様、それからそれぞれの置かれた公園の特性等を生かしますように、さらに努力してまいりたいと思っております。委員の皆様からのご指導ですとか、ご鞭撻につきましても、さらにお願いできればと思っております。引き続きまた1月にもあるということがございますので、ぜひともよろしくお願ひいたします。

簡単ではございますけれども、私からのお礼のご挨拶とさせていただきます。

○園尾管理課長　以上をもちまして、都立公園等指定管理者評価委員会を終了いたします。委員の皆様、まことにありがとうございました。

午後4時7分　閉会